

2021年度活動方針

- 1 コロナ禍及び「働き方改革による部活動改革」時代に求められる吹奏楽活動の在り方
 - (1) 吹奏楽の未来に夢をつなぎ、多くの市民に愛される魅力あるイベントづくりを目指す。
 - (2) 過渡期が訪れている「部活動としての吹奏楽活動」について各地の現状、取組環境を検証し、現状に即した吹奏楽部の活動の在り方について検討・提案する。さらに、ジュニアバンドや市民バンド等の地域バンドの活動の新たな役割や活動の在り方について研究することで、生涯学習としての吹奏楽活動の充実・発展を図る。
 - (3) コロナ禍でのフェスティバルやセミナーの在り方について研究し、連盟主催の諸行事に研究内容を生かし、具現化する。
 - (4) 地域に移行していく吹奏楽活動を見据えて、地域イベントの在り方を模索するとともに発展を図り、メディアへの働きかけを積極的に行う。
- 2 吹奏楽活動の促進、啓発のために
 - (1) 愛知県吹奏楽セミナーを開催し、地域の吹奏楽指導者の育成に寄与する。実績のある講師を招聘し、参加者に対し有益な講習及び情報の提供を行う。
 - (2) 各地区での吹奏楽研修会や楽曲講習会を支援し、吹奏楽活動の発展や新しい吹奏楽曲の紹介、楽曲の研究などを行う。
 - (3) 60周年記念事業で作成した「楽器別レッスン動画」を、加盟団体が積極的に活用できるように情宣し、県内の吹奏楽部員や吹奏楽愛好家のレベルアップを図る。
 - (4) 支援を必要とする吹奏楽指導者（吹奏楽指導経験の浅い吹奏楽指導者）を対象に講師派遣事業を充実・発展させることで、県内の吹奏楽指導者の力量向上を図る。
 - (5) 吹奏楽指導経験者を、各支部・加盟団体に派遣する事業を行う。
 - (6) 市民吹奏楽団・ジュニア吹奏楽団の発展に寄与する活動を行う。
 - (7) 小学生バンドの活動が厳しい状況になってきた現状に即して、新しい小学生の吹奏楽活動の充実・発展を図る。
 - (8) 地域での吹奏楽・マーチングイベントを活性化し、吹奏楽を通して世代を超えた交流の充実を図る。
- 3 吹奏楽を楽しむ活動の推進のために
 - (1) 「動くコンサート」を感染防止ガイドラインに沿って慎重に開催し、より多くの吹奏楽仲間をつなぐ活動を目指す。
 - (2) 大学・職場・一般吹奏楽フェスティバルの充実を図るとともに、各地区の吹奏楽フェスティバルの活性化を図る。さまざまな方に活動を知ってもらうように情宣活動を充実させる。
- 4 吹奏楽コンクール、小学生バンドフェスティバルおよびアンサンブルコンテストの充実・発展のために
 - (1) コロナ禍での吹奏楽コンクール、中部日本吹奏楽コンクール、小学生バンド・フェスティバル、アンサンブルコンテスト、中部日本個人・重奏コンテストの開催の仕方を柔軟かつ多角的に検討し、新しい形態の吹奏楽事業を実践して、その検証を行う。
 - (2) 連盟共通の審査員リストの作成を目指し、準備・運営の補助とする。
- 5 マーチングの普及・発展のために
 - (1) マーチング講習会を実施する。
 - 専門講習と出前講習を開催し、各団体の技術向上を図る。
 - 生徒が主体的、効率的に技能を磨けるように、技能検定システムの普及やDVD教材の作成・活用を行う。
 - (2) 無料講習会を実施する。
 - 教員の負担を軽減するとともに、マーチング活動の継続や新規参加がしやすくなるように、講師派遣制度の充実を図る。
 - トップレベルのマーチングバンド育成のための支援を行う。
 - (3) マーチングの普及活動を拡充する。

連盟を挙げて「マーチング大会」や「動くコンサート」などの事業の広報を行い、参加団体、観客が増えるように努める。
- 6 愛知県吹奏楽連盟の発展のために
 - (1) 愛知県吹奏楽連盟公式ホームページを生かし、連盟内の情報交換を円滑にし、一般への広報活動を拡大する。
 - (2) 事務局間の連携を図り、諸行事がより円滑に進むよう工夫する。また、各支部、部門等の事務処理の効率化と会計処理の簡潔化に取り組む。